

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和6年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市民球場・三萩野球場

所在地・施設内容：別紙「施設概要」のとおり

(2) 指定期間

令和7年4月1日～令和12年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：北九州野球株式会社

所在地：北九州市小倉北区三萩野二丁目10番1号

主な業務内容：プロ野球公式戦等の興行、北九州球場内の各種催事、食料品、野球用品、各球団マスコット、グッズ等販売、等

2 指定の経緯

令和6年 8月27日 募集要項配布

令和6年 9月30日 募集締め切り

令和6年10月15日 指定管理者検討会の開催

令和6年11月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

ア 法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)

イ 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。

ウ 申請意向届出書を提出していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が申請意向届出書を提出していること。)

※複数の団体により構成するグループによる応募について

グループでの応募も可能です。その場合は、応募時に共同事業体を結成し、代表団体を定めていただき、上記の要件を、その代表団体に求めます。なお、

共同事業体の代表団体は、構成員中最も業務履行能力の大きい者とし、出資比率は構成員中最大でなければならないこととします。

- エ 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。
- オ スポーツ施設の管理運営及びスポーツ振興に関するノウハウや能力を有すること。

(2) 応募状況

説明会参加：3団体

応募件数：2団体（野球しようぜ！チーム北九州共同事業体、北九州野球株式会社）

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討した。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定した。

4 検討会構成員 5名（五十音順）

- ・[市民代表] 植田 詩生（株式会社福岡リビング 北九州編集長）
- ・[学識経験者] 内田 満（NPO 法人スポーツウェイヴ九州 理事長）
- ・[経営に知見を有する者] 河邊 政恵（株式会社リバー不動産 代表取締役社長）
- ・[財務に知見を有する者] 則松 佳孝（則松佳孝税理士事務所 代表）
- ・[学識経験者] 南 博（北九州市立大学 地域戦略研究所教授）

5 選定基準

選定基準（=審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
	③ 複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
- ② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
- ③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。
- ④ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
- ④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。

【効率性】

(3) 指定管理料及び収入

- ① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
- ② 収入が最大限確保される提案であるか。
- ③ 完全利用料金制の場合、市に対して収益の一部を納付する提案があるか。

(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性

- ① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
- ② 経費の配分は適切であるか。
- ③ 積算根拠は明確であるか。
- ④ 再委託が適切な水準で行われているか。

【適正性】

(5) 管理運営体制など

- ① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
- ② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
- ③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
- ④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
- ⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。

(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が十分に考えられているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
- ③ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
- ④ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。

(7) 社会貢献・地域貢献

- ① 高齢者や障害者等の雇用促進が考えられているか。
- ② 労働環境の向上への取り組みが考えられているか。
- ③ SDGsの達成や環境への配慮に関する取り組みが考えられているか。
- ④ 地域活動や地域交流などの取り組みが考えられているか。
- ⑤ 地域団体や市内事業者などと連携した取り組みが考えられているか。

⑥ 市民雇用拡大に資する配慮が考えられているか。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (=審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル					検討会 審査結果	得点
			構成員						
			A	B	C	D	E		
野球しようぜ！チーム北九州共同事業体	1 指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	3	3	4	3	3	3	3
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	3	4	3	2	3	3	3
	(3) 実績や経験など	5	3	4	3	3	3	3	3
	2 管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	3	3	3	4	4	3	18
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	3	3	3	3	6
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	3	3	3	3	3	3	9
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	3	3	3	3	3	3	6
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	3	3	3	3	3	3	6
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	3	3	3	3	3	6
	(7) 社会貢献・地域貢献	10	3	3	3	3	4	3	6
	合 計	110	66	68	67	71	74	—	66
地元団体に対する優遇措置 (5点)								71	
北九州野球株式会社	1 指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	4	4	4	3	3	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	3	4	3	3	4	3	3
	(3) 実績や経験など	5	4	4	4	4	4	4	4
	2 管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	4	3	3	3	3	3	18
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	3	3	3	3	6
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	4	3	3	3	3	3	9
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	3	3	3	3	3	3	6
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	4	3	3	3	3	3	6
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	3	3	3	3	3	6
	(7) 社会貢献・地域貢献	10	3	3	3	3	3	3	6
	合 計	110	79	69	68	67	68	—	68
地元団体に対する優遇措置 (5点)								73	

(2) 検討会における主な意見

野球しようぜ！チーム北九州共同事業体

- ・ 多彩な自主事業の提案内容で、「市民のための球場」というのは良かったが、敢えて市民球場で行う必要性を感じなかった。
- ・ 新しいことをやってくれそうな提案だと感じた。

北九州野球株式会社

- ・ 市民球場の芝生の管理は今までも定評があり利用者目線で考えると安心感がある
- ・ 提案内容にやや物足りなさはあるものの、安定的な維持管理や興行の実施を考えると優位である。

(3) 検討会における検討結果

- ・ 野球しようぜ！チーム北九州共同事業体の提案の方が、新しさがある内容であったが、指定管理者としての実績や経験の面、さらには安定的な財政基盤の確保という観点を考慮すると、合計得点の高い北九州野球株式会社が指定管理者として相応しいと判断する。今後の指定管理業務において、提案を上回る取り組みを期待したい。市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、北九州野球株式会社を指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・ 指定管理者として、天然芝の管理について十分な経験があるとともに、施設の維持管理についても実績がある。
- ・ プロ野球など大規模大会に対応する施設として安定した運営が期待できる。

(3) 付帯意見

特になし

8 提案額

令和7年度	89,761千円
令和8年度	89,761千円
令和9年度	89,761千円
令和10年度	89,761千円
令和11年度	89,761千円

北九州市民球場・三萩野球場 施設概要

施設名	設置根拠条例	所在地 (北九州市)	設置目的	建築年	供用開始日	構造	建築物の概要	使用料金	供用時間	休業日
北九州市民球場	北九州市都市公園、公園、駐車場等の設置及び管理に関する条例	小倉北区 三萩野二丁目10番	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。	S 32	S32.9.15	R C造	競技場 12,310㎡ スタンド 20,000人 夜間照明、管理室・事務室 更衣室・シャワー室	<専用> 一般 1面1回(1時間以内) 4,050円 高等学校の生徒以下の者 1面1回(1時間以内) 2,020円	4月から10月まで 午前9時～午後9時 11月から翌年の3月まで 午前9時～午後6時	年末年始 (12月29日～翌年1月3日)
三萩野球場		小倉北区 三萩野三丁目3番		S 32	S32.4.1	・三萩野球場 競技場 10,109㎡ 夜間照明、本部席、ベンチ	<専用> 一般 1面1回(1時間以内) 1,200円 高等学校の生徒以下の者 1面1回(1時間以内) 900円	4月から10月まで 午前6時～午後9時 11月から翌年の3月まで 午前6時～午後6時	年末年始 (12月29日～翌年1月3日)	

提 案 概 要

(北九州市民球場・三萩野球場 指定管理者)

団体名：野球しようぜ！チーム北九州共同事業体

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>■北九州市民球場・三萩野球場の設置目的や施設の在り方、市の基本方針等の施策を考察・理解したうえで、次の運営理念と基本方針を策定し、管理運営に努めてまいります。</p> <p><運営理念>「市民に野球の夢と感動を！」～市民のための球場がシビックプライド醸成に繋がりコミュニティを創出する～</p> <p><基本方針> 1.安心・安全な施設運営 2.公平性の確保と平等利用 3.利用者の拡大と満足度向上 4.スポーツ振興の推進 5.地域社会との連携</p>
<p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <p>■当団体代表企業は、昭和 58 年の設立以来、緑化建設事業とビルメンテナンス事業を中心に事業展開しており、これまでの公共施設の植栽維持管理、清掃、警備、設備管理等の実績による経験やノウハウはもちろん各種有資格者などの優秀な人材も有しているため、万全な体制での総合的な管理運営が実現できます。</p> <p>■ISO9001 の認証を取得しており、顧客満足向上と品質マネジメントの継続的改善への取り組みを日常的に行なっているため、当施設の管理運営についても品質向上に向けた本格的な実践が可能です。また、エコアクション 21 の認定も取得しているため、低炭素社会への取り組みと同時に、ムダなエネルギー削減といった提案や取り組みも可能です。</p> <p>■当団体構成企業は、ファウンダーの堀江貴文を中心に活動を開始し、人口・経済規模が大きく、野球の浸透度が高い北九州市・下関市両市に本拠地を置き、2022 年 3 月より、九州アジアリーグに参入しています。本年はリーグ初優勝を果たし、野球を中心に地域のスポーツを盛り上げています。</p>
<p>(3) 実績や経験など</p> <p>■当団体代表企業は、指定管理業務として、アドベンチャープール、県営中央公園、北九州パレス、グリーンパーク、勝山公園・あさの汐風公園、小倉城・小倉城庭園・しろテラス、門司港レトロ観光 9 施設の受託実績があり、特に福岡県営中央公園においては、これまでに 4 度の A 評価、門司港レトロ観光 9 施設においては昨年指定管理期間 1 年目に B 評価を頂きました。</p> <p>■当団体構成企業は、設立以来プロ野球独立リーグ球団「北九州下関フェニックス」の運営を通して、野球を中心に地域スポーツの普及や振興に尽力してまいりました。これまで、北九州市民球場を中心に 117 試合の主催試合を企画・運営し、累計約 42,700 人の来場者に観戦を通じて野球やスポーツの楽しさを体験していただきました。さらに野球教室やスポーツ体験教室を開催したり、地元のお祭りなどのイベントに参加したりと、野球を中心にスポーツの普及、推進に努めています。</p>

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <p>■施設の設置目的の達成に向け、「公の代行者」であることを常に念頭に置くとともに、最も重視すべきである「安全体制の確立」に努め、「安全と安心=真の快適」という最大のサービスの提供と、事故の未然防止、再発防止に取り組みます。</p> <p>■地方自治法に規定された「住民の平等利用の確保と差別取り扱いの禁止」に従い、すべてのご利用者に平等で公平な管理運営をします。またあらゆる方に気軽に施設を利用いただけるよう、ユニバーサルデザイン視点での配慮も行います。</p> <p>■敷居が高く、市民の球場という感じがしないという調査結果から、利用者のニーズやウォンツ、不満点をとことん追求・把握し、反映改善する取組みを行うとともに、ホスピタリティ・マインドの醸成や広報活動・PR活動を強化することで、利用者拡大と満足度向上に努めます。</p> <p>■野球のスポーツ振興の取組みをさらに推進するため、次世代の選手育成や普及活動の推進、ベースボールスクールの開催など、多様な自主事業を展開いたします。</p> <p>■地元雇用促進や高齢者や障がいのある方の雇用機会創出に努めるとともに、「ノーマライゼーション」の社会づくりにも貢献します。</p> <p>■当団体構成企業の選手にシーズンオフにも野球に関わる仕事を提供することで、選手の生活の安定する一助になるとともに、引退した選手も雇用することで、選手のセカンドキャリア形成にも一躍担えるといった社会貢献に寄与します。</p> <p>■スポーツ団体、近隣施設等と連携し、多様なプログラムを創出することで、球場利用者の増加と交流のきっかけづくりに取り組みます。また、地域社会に協力を仰ぐことで、情報提供はもちろん、新たな交流の検討協議などを行なってまいります。</p>
<p>(2) 利用者の満足度</p> <p>■利用者が居心地良く快適に過ごせるよう「安全・安心・快適」を最優先に確保しつつ、「選択と集中」の観点に基づき、現状を踏まえながら、より効率的で効果的な管理運営を目指します。</p> <p>■当団体代表企業は、施設の維持管理維持管理のプロ集団であり、その知見やノウハウ、ネットワークを駆使して高品質な維持管理を実現します。</p> <p>■当団体構成企業のプレイヤーによる天然芝フィールドの監視で高品位かつ利用目線の維持管理を実現するとともに、利用者が安全・安心・快適に、プレーに集中できる環境を提供します。</p> <p>■アンケートの実施やご意見箱の設置などにより、利用者の意見や要望を積極的に収集し、ニーズとウォンツの把握と施設管理の改善につなげます。</p> <p>■利用者からの意見はOODA ループに基づき、「観察・分析・判断、意思決定、実行」を実践することで、継続的改善を図ります。</p> <p>■利用者からの苦情については、迅速かつ誠意を持って対応し、改善策と苦情の未然防止と再発防止に努めます。</p> <p>■利便性とサービス向上のため、多彩なツールでフレッシュな情報提供に取り組みます。</p> <p>■ホスピタリティ溢れる接客サービスとおもてなしの精神で、利用者にとって気持ちの良い環境づくりに取り組みます。</p>

【効率性】に関する取組み
<p>(1) 指定管理料及び収入</p> <p>■市民のサービス向上と経費の削減という、一見すると相反する要素を実現させるため、経費削減を推進する項目と、経費の充実を図る項目とを区分した収支計画を立てております。</p> <p>■スタッフのマルチジョブ化（多能化）により、効率的な人件費の運用を実現します。</p> <p>■光熱費の節減はもちろん、スケールメリットや集中した購買システムの活用、また相見積もりの実施など、適正かつ安価に調達することで、経費低減に努めます。</p> <p>■企業協賛によるスポーツイベントを開催することで、収入の確保に繋がるとともに、備品や修繕等に充てることが可能となり、行政の負担軽減にも寄与できます。</p>
<p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <p>■これまでの実績と経験から、堅実な収支計画を立案しており、実現性の高い予算編成となっています。</p> <p>■自主事業収入においては、当団体のこれまでのイベント運営実績による指標を基に計画し、期待値などによる過度な見込みとにならないよう、妥当性に配慮しております。</p> <p>■支出については、収入と同様、これまでの当施設での経験と実績が指標となっており、過度・過小なものにならないよう適正かつ堅実な積算を行っております。</p> <p>■経費低減の取り組みについては、初年度はできることから、施設の状況や利用特性を把握できた2年目以降は抜本的および細部の削減策を実行いたします。</p> <p>■できるだけ内製化を図りますが、機械管理や定期点検等の専門的技術を必要とする業務、再委託とする方が効率的な業務などについては、業務の再委託を行いません。</p>

【適正性】に関する取組み
<p>(1) 管理運営体制など</p> <p>■当団体の各社における得意分野を最大限発揮できる体制づくりに努め、施設のライフサイクルを見据えた計画、定期的なメンテナンス、プレイヤー目線による、施設の維持・改善に努め取り組みます。</p> <p>■当団体の各企業から構成されるサポートチームによって、現地のバックアップを行いません。</p> <p>■当施設に関わる職員全員に、「接客研修」「救命講習」の受講を義務付け、きめ細かな心遣い、緊急時の迅速な対応、法令を遵守した対応等、様々な役割を幅広く行えるよう教育いたします。</p> <p>■接客研修の実施や、各種資格などの取得支援など、職員の資質向上に取り組みます。</p> <p>■これまでの管理運営で培った、地域・学校・関係団体・関連施設などとの連携や協働をさらに強化し、様々な取り組みを行いません。</p>
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>■北九州市個人情報保護条例およびその他関係法令を遵守し、改正個人情報保護法にも対応した、プライバシーポリシーや個人情報保護規程を制定したうえで、個人情報の厳重な管理と適切な取り扱いを行いません。</p> <p>■施設の設置目的や役割を十分に認識し、誰もが気軽に施設の利用及びイベントへの参加ができるように、公共性（公益性）を確保して参ります。</p>

- 接客等の教育研修による職員への意識啓発に努め、中立性を堅持する管理運営をいたします。
- 人権啓発推進に努め、不当な差別的取り扱いのない施設運営に取り組みます。
- 高齢者や障がいのある方、小さなお子様、外国人など、多様な方々への配慮に努め、誰もが利用しやすい環境づくりに努めて参ります。
- プリメンテナンス（予防保全）を徹底し、あらゆる事故の未然防止と、機械設備の長寿命化に取り組み、「安全・安心・快適」に利用できる施設づくりに努めます。
- “誰もが安心して気軽に利用できるスポーツ施設～安全管理の取組～” を参考にマニュアルを作成し、施設・設備・用器具の安全確保はもちろん、プログラムの安全確保にも努めます。
- 「安全管理マニュアル」を作成し、事故発生時の迅速な対応を可能とするとともに、「災害対策マニュアル」と「災害対応マニュアル」を作成することで、災害発生時の危機管理体制の明確化と対応方法の明確化に取り組みます。

(3) 地域貢献・社会貢献

- 直接間接の雇用、または業務委託に関係なく、高齢者および障害を持つ方の雇用・自立・社会参加の創出に努めます。
- 当団体代表企業の労働集約型産業の強みを活かし、定期的な面談や、専用 LINE によるお悩み相談、ハラスメント講習の実施など、労働環境の向上に向けた取り組みを行います。
- 当団体代表企業は、北九州 SDGs 登録事業者であり、エコアクション 21 も取得しているため、環境マネジメントに引き続き取り組むとともに、北九州市の施策の実践・推進を心がけ、環境への配慮に積極的に取り組みます。
- 学童クラブや市教育委員会と連携した野球教室の開催や、NPO 法人との連携による BASEBALL SCHOOL の開校をはじめ、北九州市プロスポーツ等連絡会議を通じた合同 PR 活動などを行って連携を深めて参ります。さらに近隣のバッティングセンターや児童養護施設との連携も強化してまいります。
- 現職員の面談を実施し、継続勤務意思の確認ならびに当団体の運営方針との適合性を確認したうえで可能な限り再雇用を検討します。また新規に雇用する場合は、北九州市に在住する方（特に近隣の方）を優先的に採用する等、地元雇用に推進します。

提案額（千円）

7年度	92,487千円
8年度	92,487千円
9年度	92,487千円
10年度	92,487千円
11年度	92,487千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。

提案概要

(北九州市民球場・三萩野球場 指定管理者)

団体名：北九州野球株式会社

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市スポーツ施設条例施行規則に則り「安心・安全」「快適・清潔」「公平・平等」をモットーとして、利用者の立場に立ったサービスの提供をします。 ・球場管理においては、指定管理者として培ってきた19年間の経験を活かし、社員一同業務を円滑に進めます。また、市民球場を取り巻く環境を理解し、市民とのコミュニケーション活動を通して地域の環境調和に配慮します。 ・旧建築基準法の下に建てられた古い球場のため、日頃より施設を傷めない、施設に優しい管理を心がけます。日々施設を点検し、施設の不具合を発見した場合には迅速に改善（修繕）対応をします。 ・幅広いご利用を促進する為、グラウンド・芝生のメンテナンスを高いレベルで維持します。
<p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <p>昭和63年に地元企業47社の出資により設立し、35年間のプロ野球興行、19年間の指定管理者としての実績で蓄積された高度なスキルとノウハウを有しております。</p> <p>福岡ソフトバンクホークス公式戦の確実な誘致・開催により、安定した広告収入・興行収入が確保できております。</p>
<p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は昭和63年設立以降、プロ野球興行を中心とし、青少年の健全なる育成を念頭に活動を行ってきました。平成18年より三萩野公園内施設の指定管理業務を受託して以降も、福岡ソフトバンクホークスと良好かつ密接な関係を保ち、確実に毎年公式戦を誘致・開催しています。北九州市で唯一プロ野球（NPB）の開催球場として定着しており、平成25年以降は、ホークスの一大イベント「鷹の祭典」や「ファイト九州」の開催が基本となり、多くの市民に喜ばれています。 ・近年は、従来からのご利用に加え、プロ野球独立リーグやJDリーグ（ソフトボール）が増えてきており、年間約200試合の利用となっています。 ・その他、青少年の育成、野球の振興を目的として、北九州地区の子供達を対象にスポーツ啓蒙のイベントを数多く実施しています。（ホークス選手OB・現役による野球教室） ・プロ野球にも通じる経験豊富なグラウンドキーパーを常駐させており、天然芝グラウンドの維持管理について、NPBや高野連等の利用者から高い評価をいただいています。

・第一交通産業株式会社はじめ地元企業とのネットワークを最大限に活用して広告収入を得ながら、野球教室など各種イベント等の自主事業に充当するとともに、北九州市と協議の上、日々の施設点検で確認された不具合箇所を重要性・緊急性の高いものから、毎年修繕しています。

また、お客様の安全性・快適性・清潔性向上の為の改修工事も行っています。

【広告収入】 (単位：千円)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
広告収入	18,402	19,640	25,000	27,200	29,050
企業数	26	32	34	36	36

【修繕費】 (単位：千円)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
金額	4,264	5,015	5,175	9,896	6,882
件数	32	17	24	21	23

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

北九州市における「野球の拠点」に相応しいサービスの強化に取り組めます。

- ・福岡ソフトバンクホークス主催の試合は、従来の年間2試合開催誘致に取り組めます。更に今までの良好な関係を保ち、1試合でも増えるべく努力を続けます。
- ・北九州市と協働して、NPBイベント（オールスターゲーム、フレッシュオールスターゲーム等）の誘致活動を続けます。
- ・少年野球、高校野球、大学野球、社会人野球、プロ野球（NPB・独立リーグ）やソフトボール（JDリーグ）のほか、企業・一般団体など可能な限り利用を促進します。
- ・プロ野球ホークス戦開催時には、物販・イベント・演出など三萩野公園全体を一体運営することで、集客・賑わいを創出します。
- ・野球振興の一助として、北九州地区の子供達を対象にホークスとタイアップして、現役選手・OBによる野球教室を頻繁に開催します。
- ・シーズンオフの催事を企画・実施することで、年中市民に親しまれる球場を目指します。

(2) 利用者の満足度

- ・北九州市民球場の利用に際し、利便性や機能性が高まるよう、球場のハード面やソフト面を整備します。
 - ・大会開催前には主催者と事前打ち合わせを行い、要望には可能な限り対応し、大会終了後にもヒアリングを実施して、次回からの改善に活かします。
- また、観戦利用者を重点にアンケート調査を実施し、より良い球場運営に役立てます。

【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理料及び収入
<p>〈指定管理業務に係る費用について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最小の経費で最大の効果を確認すべくランニングコストを常に意識し、環境対策にも配慮した執行を行います。特に光熱水費については、日頃より節水・節電を意識し、コスト削減を図ります。 <p>〈収入の確保について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロ野球や社会人野球等魅力ある質の高い大会を誘致し来場者を増やします。 ・身近なスポーツの実践の場としての施設利用の提供で来場者増を図ります。 ・市民球場のイベントを活性化する事により、広告価値を高め、広告収入の増大に繋がります。 ・場内における飲食販売の拡充により利便性のアップと収入増に繋がります。
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性
<p>平成18年からの経験に基づいた管理運営実績による収支積算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力なる大会の誘致やリピーター、新規利用者の確保による収入増加。 ・広告収入や興行収入増加による収入確保。 ・再委託業者の適切な管理、コスト削減による経費管理。
【適正性】に関する取組み
(1) 管理運営体制など
<p>経験豊かな専任スタッフおよび再委託先も含めて適正な配置をすることにより、球場が持つ本来の機能を確実・安全・丁寧に管理運営を行います。</p>
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
<p>〈利用者が平等に利用できるような配慮について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の球場利用ニーズに応える為、球場の「施設予約システム」を明らかにし、球場のスケジュール管理を徹底します。 ・大会利用予定については、各団体の利用要望に基づき、北九州市と協議し日程を確定します。 <p>〈日常の安全対策や事故発生時の対応について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、安全対策会議の実施 ・施設モニタリングに基づき、定期的な保守点検の実施 ・緊急時連絡表の掲示により、情報の共有化と迅速な対応を図る <p>〈防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備点検や避難訓練の実施 ・警備会社との連携による警備の実施 ・緊急時の警察・消防・設備業者への連絡体制の構築 <p>〈個人情報の管理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理責任者を配置し、「個人情報保護に関する法律」「北九州市個人情報保護条例」その他の規範を遵守します。

(3) 地域貢献・社会貢献

私たちが考える持続可能な未来とは、人々が夢を持って、幸せに生きられる社会が何世代にもわたって続いていくことです。野球を通じて環境・社会・地域の観点から社会問題解決に取り組んでいきます。

〈地域活動や地域交流などの取り組み〉

新たな取り組みとして

北九州の子どもたちの未来と野球の未来に貢献するため、積極的に地域貢献活動を行っていきます。

- ・地域清掃活動 球場周辺の清掃を率先して行います。
- ・地域花植活動 球場に花壇を作ります。花植えには、グラウンドから出る廃土を再利用します。
- ・福岡ソフトバンクホークスと連携して、幼稚園や小学校への訪問や野球教室、また、身障者の方々を中心に市民球場の試合に招待するなど、野球とふれあい、体験する機会を提供していきます。
- ・三萩野公園全体を使い、老若男女問わず参加できる「球場まつり」を企画・実施します。

施設の管理運営では、以下の事で環境負荷の低減を図ります

- ・照明のLED化推進（エネルギー使用量低減、CO2削減）
- ・空室の消灯徹底
- ・ペーパータオル（リサイクルペーパー）
- ・トイレトペーパー（北九州紙えこっパー使用）
- ・ペットボトル分別回収（ゴミの削減）

その他、コピー用紙（エコペーパー使用）、パソコン省エネ設定や、名刺の素材をLIMEXに切り替えるなど、細かな部分も含めて実行します。

〈地域団体やシニア事業者などと連携した取り組み〉

- ・まちづくり協議会を通じて地域の各市民団体と連携、協働し、市民のふれあいや、学習の場として活用できるイベントや教室の企画・実施します。

〈市民の雇用拡大に資する配慮〉

- ・社員は100%市民を雇用し、臨時職員を雇用する際も、市民を最優先で採用します。

提案額（千円）

令和7年度	89,761千円
令和8年度	89,761千円
令和9年度	89,761千円
令和10年度	89,761千円
令和11年度	89,761千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。

北九州市民球場・三萩野球場 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月9日(水) 9:00~12:20
- 2 場 所 ミクニワールドスタジアム北九州 会議室5
- 3 出席者 (検討会構成員) 植田構成員、内田構成員、河邊構成員、
則松構成員、南構成員
- (事務局) 都市ブランド創造局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、施設整備担当係長、
担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出

- 応募団体(野球しようぜ!チーム北九州共同事業体)より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答
 - (構成員) 市内には各区1つずつくらい球場があるが、中でも北九州市民球場はプロ野球が開催できる球場ということで、他の球場とは違うPRのご提案があれば教えてもらいたい。
 - (応募団体) 北九州下関フェニックスとしては、これまでプロ野球が開催される球場を利用者、主催者の立場で見てきたが、その中で北九州市民球場はプロユースと言っているものの、実態は他のプロ野球球団が利用する球場とは大きく違う。エレベーターで障がい者の方が移動する手段がない、場内に主催者側の看板が設置できない、等、非常に多くの制約があると感じる。こういったところを改善していきたいと考えている。
素晴らしい天然芝が管理されているところであるため、プロはもちろんのこと、アマチュアにも使っていただきたいと考えている。利用者層を広げて、小中学生にも使ってもらうことで、スポーツ振興にもつながる。広いサービスの可能性があるのが普通の球場とは違うと考える。
 - (構成員) サウンディング調査を実施したとのことだが、どういう団体に、どのような手法で行ったのか。
 - (応募団体) 学童野球を対象に、学童部長を通して、実際に市民球場を利用した人達から意見を集め、吸い上げたもの。それを提案書に載せたが、サンプル数等はわからない。

- (構成員) 北九州市民球場の良いところはどこだと考えるか。
- (応募団体) 北九州市の方々が集まりやすい立地にあることだと考える。また、グラウンドコンディションは北九州市でも一番整っている。選手の立場から言うと、ソフトバンクの選手をはじめ、フェニックス、市内の団体様を含め、怪我をしない。整ったグラウンドで長年子供たちのプレーを支えていくということに関しては、北九州市民球場は最適な場所と考えている。
- (構成員) 財務の面で、北九州下関フェニックスはかなりの債務超過になっているのは否めない。売上高は増えていっているが、赤字解消までには至っていない。どのように考えているのか伺いたい。また、岡崎建工は野球場の管理経験があるのか伺いたい。
- (応募団体) 初年度9000万円の赤字から、今年は3000万円ほどの赤字を予定している。経営的には人件費を中心にかなり改善されている。それ以前に、独立リーグには全国で約30球団ほど所属しているが、基本的にほぼ全ての球団が赤字運営でなりたっている。背景としては野球への思いとか、財政基盤の整ったオーナーに支えられていることが大きい。弊社については、オーナー、社長の球団存続の意思が強いこともあり、問題なく取り組んでいけると考えている。収支の改善については、3年後を目安に、収支のバランスをとっていけば、また独立リーグで優勝したことも追い風になって、若くて有望な人材が集まる球団になるのではないかと考えている。また、岡崎建工単体での野球場の管理については、福岡県立中央公園の野球場管理をさせていただいている。関連企業の知見やサポートも得られており、自社のノウハウと他社のアドバイスを合わせて管理していければ良いと考えている。
- (構成員) 自主事業等は、利用者の方へどれだけの情報が届くかが大事であり、SNS、ホームページが情報発信の手段としてメインになるかと思うが、チラシが個別に予算化されている。こういったアナログ的な手法も必要だと思うが、チラシはどのくらいの枚数をどういう人たちにどのような手法で届けたいのか伺う。
- (応募団体) チラシ等については、フェニックスの選手が直接商店街や市民センターでまんべんなく配るものとして予算化している。
- (構成員) グラウンドコンディションの話と関連して、今のところ、何らかの企業への再委託が発生するように見受けられるが、どうなのか。また、グラウンドキーパーの確保についてはどのような方針か。
- (応募団体) 指定管理をスタートして実態を把握してからというのは前提だが、基本的には再委託になると思われる。グラウンドキーパーも再委託先から置いてもらうことになると思われる。内製化できる部分がないか、フェニックスの選手にも手伝ってもらったりして、ノウハウを作り上げていながら管理していこうと考えている。
- (構成員) そうすると、支出計画の支出部分で出しているが、

指定管理の範囲内で再委託等を行うということか。

(応募団体)

そうである。

(構成員)

高校野球でみると、野球人口の減少という問題があるが、その中で、女子野球や障がい者野球というのは野球の裾野としてあると思うが、野球の振興という部分でアプローチはしていくのか。

(応募団体)

野球というジャンルの振興も考えている。ソフトボール、軟式野球等があるが、それを北九州市民球場で、フェニックスの関係者やフェニックスのつながりを活かせるのが私共の強みだと思っているので、小学校の野球教室、小学生未満の野球体験会、等をとおして、市内の野球の中心地を北九州市民球場にするという考えを持って取り組んで参りたい。

(構成員)

提案書にある、全国規模の大会誘致、地元の食の PR という内容について、北九州市民球場、三萩野野球場で考えると、この部分はハード的な問題もある。駐車場の確保など。そのあたりの大規模集客イベントを開く時に、安全対策等はどのようなことを考えているのか。

(応募団体)

我々が想定している大会誘致は、独立リーグのグランドチャンピオンシップというもので、現在これに手を挙げる権利がある。その誘致をして、外からくるお客様に体験していただく。今考えている三萩野野球場では1日当たり1万人くらいの集客かと思われる。大きな大会になると、周辺の複合施設であるアレアスやメディアドームとの連携が必要になるとと思われる。

○ 応募団体（野球しようぜ！チーム北九州共同事業体）退出後に各構成員が採点

○ 応募団体（北九州野球株式会社）より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答

(構成員)

北九州市民球場は NPB が開催できる市内唯一の施設だが、今は見るスポーツの在り方が変わってきており、ただ観戦するのではなく、いかに感動的なスタジアム体験をできるかという中で、球場体験の価値をいかに上げていくか、工夫があれば伺いたい。

(応募団体)

ホークスの試合で言うと三萩野野球場、三萩野公園を一带的に利用し、単なる試合観戦ではなく、イベントを行うことで地域のにぎわい創出に寄与している。

(構成員)

自主事業に関して、ホークスベースボールクリニックの項目には、ナイター照明の収支のみ記載があるが、ホークスの講師の方への謝金等は発生しないのか。

(応募団体)

ホークスとの連携による事業のため、そのような経費は発生していない。また、自主事業であるベースボールクリニックの他に、ベースボールスクールがあるが、こちらは単なる場所貸しのため、経費は発生していない。

(構成員)

広告予算について、プロ野球の時とそれ以外の時の分配割合を

ざっくりでいいので伺いたい。また、社会貢献・地域貢献の記載があるが、地域コミュニティの創出ということでセミナーやものづくり体験というものを挙げていただいているが、これは利用料をとるのか、無料なのか伺いたい。

(応募団体) 北九州市民球場での広告予算の割り振りについて、ホークスの試合では、ホークスが行う広告事業に乗じて広告を行う形をとっているため、特に予算がかかることはない。その他の広告活動は基本的にホームページ等で行っているため、特段、経費はかかっていない。また、地域貢献活動については、北九州野球株式会社自主事業でやろうとしているので、基本的には会社から原資を回して、地域の方々に様々なことを体験してもらうという事業アイデアだけがあるが、具体的に料金等をどうするかは決まっていない。

(構成員) これまで指定管理をしてきて見えてきた課題や対策はあるか。

(応募団体) ハード面では、現在、広告看板、試合時の飲食売店、施設の管理、これらを一体化して運営することによって、施設をちゃんと維持できるという風に思っている。ソフト面では、来場者をいかに増やすか、イベントの回数をどこまで増やせるかが一番の課題。

- 応募団体（北九州野球株式会社）退出後に各構成員が採点
- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

(構成員) あくまでも提案書とプレゼンだけで決めなければならないという前提で、どちらも同じくらいの印象。野球しようぜ！チーム北九州共同事業体は新しい提案があったが、市民球場でなくてもよい提案であった。北九州野球株式会社は、前回公募時から提案書のクオリティが上がっておらず、具体的な内容や予算等が書かれていない。実績の部分で北九州野球の点数が高くなった。

(構成員) 非常に迷った。野球しようぜ！チーム北九州共同事業体は提案が面白く、いろんな人を取り込もうと具体的な提案をしていたが、市民球場でなくてもよいものではあった。

北九州野球株式会社に関してはこれまでの経験や実績がものを言っているが、興味がない人には届かない印象ではある。どちらもさほど変わらないというのが感想だが、野球しようぜ！チーム北九州共同事業体の「市民のための球場」といったのが良かった。

(構成員) 野球しようぜ！チーム北九州共同事業体は意欲的な提案ではあるが、芝生やフィールドの維持管理というところで、グランドキーパーさんが再委託で、うまくいかなかったときどうするのかなど、やや安定性に欠ける提案と感じた。

北九州野球株式会社はもう少し数字や内容等を押さえて提案をしてもらいたいと感じたが、安定的な維持管理、興業の実施を考えて北九州野球株式会社となった。提案内容が十分だったかというところではない。

(構成員) どちらも同じくらいの印象。これまでの経験と実績から、市民球場の芝生に定評があるのは聞いている。利用者目線で見るときに、北九州野球株式会社が管理運営したほうが、安心感があるのかと思う。

(構成員) 長年やってきたところと新しいところの構図になり、ホークスを1試合呼べるか呼べないかみたいな話になっているかもしれないが、新しいことをやってくれそうなところに賭けてみようという期待で、野球しようぜ！チーム北九州共同事業体の点数を高くした。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和6年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名称：本城・的場池公園内スポーツ施設
所在地・施設内容：別紙「施設概要」のとおり

(2) 指定期間

令和7年4月1日～令和12年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名称：株式会社スピナ
所在地：北九州市八幡東区平野二丁目11番1号
主な業務内容：不動産賃貸業、建築・設備工事業、総合ビル管理業、防疫業、自動車事業、緑化環境事業、堅パン・羊羹製造販売、各種商品販売業、指定管理施設運営、等

2 指定の経緯

令和6年8月27日 募集要項配布
令和6年9月30日 募集締め切り
令和6年10月7日 指定管理者検討会の開催
令和6年11月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

- ア 法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)
- イ 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ウ 申請意向届出書を提出していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が申請意向届出書を提出していること。)

※複数の団体により構成するグループによる応募について

グループでの応募も可能です。その場合は、応募時に共同事業体を結成し、代表団体を定めていただき、上記の要件を、その代表団体に求めます。なお、

共同事業体の代表団体は、構成員中最も業務履行能力の大きい者とし、出資比率は構成員中最大でなければならないこととします。

- エ 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。
- オ スポーツ施設の管理運営及びスポーツ振興に関するノウハウや能力を有すること。

(2) 応募状況

説明会参加：3団体

応募件数：1団体（株式会社 スピナ）

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討した。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定した。

4 検討会構成員 5名 (五十音順)

- ・[市民代表] 植田 詩生 (株式会社福岡リビング ビング 北九州編集長)
- ・[学識経験者] 内田 満 (NPO 法人スポーツウェイヴ九州 理事長)
- ・[経営に知見を有する者] 河邊 政恵 (株式会社リバー不動産 代表取締役社長)
- ・[財務に知見を有する者] 則松 佳孝 (則松佳孝税理士事務所 代表)
- ・[学識経験者] 南 博 (北九州市立大学 地域戦略研究所教授)

5 選定基準

選定基準 (=審査項目) 及びポイント	
1	指定管理者としての適性
(1)	施設の管理運営 (指定管理業務) に対する理念、基本方針
①	応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営 (指定管理業務) に対する理念や基本方針を持っているか。
(2)	安定的な人的基盤や財政基盤
①	長期間安定的な管理運営 (指定管理業務) を行っていくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
(3)	実績や経験など
①	応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
②	応募団体が施設の管理運営 (指定管理業務) に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
③	複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確にな

	っているか。
2	管理運営計画の適確性
	【有効性】
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み
	① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
	③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。
	④ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
	(2) 利用者の満足度
	① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
	② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
	③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
	④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
	⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
	【効率性】
	(3) 指定管理料及び収入
	① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
	② 収入が最大限確保される提案であるか。
	③ 完全利用料金制の場合、市に対して収益の一部を納付する提案があるか。
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性
	① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
	② 経費の配分は適切であるか。
	③ 積算根拠は明確であるか。
	④ 再委託が適切な水準で行われているか。
	【適正性】
	(5) 管理運営体制など
	① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
	② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
	③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
	④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
	⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
	① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
	② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
	③ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
	④ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。
	(7) 社会貢献・地域貢献
	① 高齢者や障害者等の雇用促進が考えられているか。
	② 労働環境の向上への取り組みが考えられているか。

③	SDGsの達成や環境への配慮に関する取り組みが考えられているか。
④	地域活動や地域交流などの取り組みが考えられているか。
⑤	地域団体や市内事業者などと連携した取り組みが考えられているか。
⑥	市民雇用拡大に資する配慮が考えられているか。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (=審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル					検討会 審査結果	得点
			構成員						
			A	B	C	D	E		
株式会社スピナ	1 指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する 理念、基本方針	5	4	4	5	4	3	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政 基盤	5	4	4	4	4	3	4	4
	(3) 実績や経験など	5	3	4	5	4	3	4	4
	2 管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成 に向けた取組み	30	4	4	4	4	4	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	4	3	4	4	3	4	8
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	3	3	3	4	3	3	9
	(4) 収支計画の妥当性及び 実現可能性	10	3	4	3	4	3	3	6
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	4	3	4	4	3	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危 機管理体制など	10	3	3	4	4	3	3	6
	(7) 社会貢献・地域貢献	10	3	3	4	4	4	4	8
	合 計	110	78	77	85	88	74	—	81
地元団体に対する優遇措置 (5点)								86	

(2) 検討会における主な意見

- ・ 教室や講座などの自主事業について、体を鍛えるだけではなく、食育などにも視野を広げて取り組んでいくところやSDGsの取組みは評価できる。
- ・ 情報発信の手段は具体的で深く考えられていたことは評価できる。
- ・ 今までと異なる構成での施設の芝生管理についても対応をしっかりと検討している。

(3) 検討会における検討結果

- ・ 実績に基づく具体的提案がなされており、経費についてもよく考えられている。有効性及び効率性についても優れた提案を行っており、株式会社スピナは指定管理者として相応しいと判断する。市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、株式会社スピナを指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・ 本市の指定管理者として十分な実績があり、安定した施設運営を期待できる。
- ・ 運動場の芝生管理なども、前指定管理者との情報共有により安心して業務を任せることができる。
- ・ SDGs への貢献活動など、市の施策を理解した提案は評価できる。

(3) 付帯意見

特になし

8 提案額

令和7年度	125,851千円
令和8年度	125,851千円
令和9年度	125,851千円
令和10年度	125,851千円
令和11年度	125,851千円

本城・的場池公園内スポーツ施設 施設概要

No	施設名	設置根拠条例	所在地 (北九州市)	設置目的	建築年月日	供用開始年月日	構造	建築物の概要	使用料	供用時間	休業日
1	本城球場	北九州市都市公園、 墓園、駐車場等の設 置及び管理に関する 条例	八幡西区御開四丁目 16番	スポーツの普及及び振 興を図り、市民の心身の 健全な発達及び明るく 豊かな市民生活の形成 に資する。	平成1年4月1日	平成1年4月1日	RC造	競技場 13,000㎡、収容人員 6,000人 本塁席・ベンチ・スタンド	一般:4050円 高校生以下:2,020円 (1回1面1時間以内)	(4~10月)6時00分~21時00分 (11~3月)6時00分~18時00分	年末年始 (12月29日~翌年1月3日)
2	本城陸上競技場 (愛称:黒崎博電地上 競技場in HONJO)		八幡西区御開四丁目 16番1号		平成1年4月1日	平成1年4月1日	RC造	陸上競技場 21,000㎡、第1種公 認、全天候舗装、1周走路 400m、9コース 夜間照明 収容人員10,000 人 予定遊樂所	共用 一般:150円、高校生以下:40 円、年長者:40円 専用 4,070円(1時間又はその倍数 ごとに)	(共用) 7時00分~20時00分 (専用) 7時00分~21時00分	
3	本城運動場		八幡西区御開四丁目 16番		平成2年4月1日	平成2年4月1日		競技場 14,300㎡	専用 一般:1,200円、高校生以下: 900円(1面1回1時間以内)	6時00分~21時00分	
4	的場池体育館		八幡西区 的場町1番2号		昭和55年10月26日	昭和55年10月26日	S造 RC造	延床面積:3,837.15㎡ 競技場 1,300㎡(40m× 32.5m) 観客席 700人 事務室、会議室、更衣室・シャ ワー室 視聴覚音楽室等	共用 一般:390円、高校生:190円、 小・中学生:120円、年長者: 110円 専用 A区分:平日2,580円、土日 3,110円 B区分:平日3,880円、土日 4,670円	9時00分~21時00分	
5	的場池球場 (愛称:福岡トヨタの 競速スタジアム)		八幡西区 的場町1番内		昭和57年4月1日	昭和57年4月1日	RC造	競技場 11,510㎡ 夜間照明・本塁席、更衣室・ シャワー高等	一般:4,050円 高校生以下:2,020円 (1回1面1時間以内)	(4~10月)6時00分~21時00分 (11~3月)6時00分~18時00分	
6	的場池弓道場		八幡西区 的場町1番2号		-	昭和59年4月15日	RC造 SRC造 木造	延床面積:370.0㎡ 5人立	共用 一般:250円、高校生以下: 120円、年長者:70円 専用 600円(1時間又はその倍数ご とに)	9時00分~21時00分	

提 案 概 要

(本城・的場池公園内スポーツ施設 指定管理者)

団体名： 株式会社スピナ

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>管理運営の基本理念 地域と共にウェルビーイングなスポーツ拠点を実現する</p> <p>基本方針</p> <p>1. ウェルビーイング</p> <p>(1) スポーツ振興と普及（多様性）</p> <p>(2) 市民の健康増進（幸福とリラクゼーション）</p> <p>(3) 子どものスポーツ活動の推進（子どもたちの心身の健康や幸福感）</p> <p>(4) 地域連携（コミュニティーとの社会的交流）</p> <p>(5) スポーツによる都市ブランド力向上</p> <p>(6) 利用者満足度の向上（快適な心地よさ）</p> <p>2. 安定的で持続可能な運営</p> <p>3. 安全・安心への貢献</p>
<p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理課を組織し、本施設以外にも指定管理者として経験豊富な職員を多数雇用しており本部を含め、人的なバックアップ体制を構築し、安心安全な管理を実現します。 ・陸上競技場の芝生管理では、日本体育施設㈱様と連携し知識、技術力の高い人材を確保します。 ・NPO 法人北九州スポーツクラブ連絡会と協力、連携し、専門性の高い優秀な人材を確保します。 ・西日本鉄道㈱100%子会社で、不動産事業を中核とした経営状況は安定し良好です。
<p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 18 年から指定管理受託事業を開始し、平成 21 年から 16 年間管理運営中の的場池施設をはじめ、スポーツ施設 4 件、文化施設 1 件の指定管理業務を受託している実績があります。 ・協力団体である北九州スポーツクラブ連会においては、本市をはじめ福岡県下多数の自治体で多数の各種スポーツ・健康づくり教室の受託実績があります。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者から本格的な競技者まで対象とした多彩な自主事業、イベントを実施します。 ・子どもたちがいろいろなスポーツを幅広く体験できるようにイベントを実施します。 ・スポーツ大会にあわせたキッチンカーイベントの開催などでにぎわいづくりを実施します。

<ul style="list-style-type: none"> ・目標利用者数は、令和7年27.9万人とし、最終年度には28.3万人を目標とします。
<p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者満足度の目標は令和7年度94%とし、最終年度には96%を目標とします。 ・職員対応満足度の目標は、令和7年度95%とし、最終年度には95.5%を目標とします。 ・アンケートなどで収集したお客様の声は本部現場全員で共有し、協議・評価の上共有し、ユーザー目線を意識した改善に取り組みます。

<p>【効率性】に関する取組み</p>
<p>(1) 指定管理料及び収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料提案額は、毎年度125,851千円とします。 ・自主事業やイベント、自動販売機による収益は、市民サービスに還元します。 ・きめ細かな利用調整を行い、施設の稼働率を上げることで、利用料収入を増加させます。 ・維持管理において、可能な限り自社対応を行い、外注費を圧縮し経費の削減を図ります。 ・利用料金については、北九州市スポーツ施設条例の通りにて運用いたします。
<p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金や物価上昇に対応するため、職員の効率的な配置や管理器具の共用など本域的場の一元管理による効率化に取り組み、コストの圧縮を図ります。 ・的場施設のこれまでの管理実績と、本城施設の調査・ヒアリングから導き出した指定管理料は、基本方針に基づいた各施策を実現し、また利用者と職員の安全を担保するための妥当な収支計画と考えます。

<p>【適正性】に関する取組み</p>
<p>(1) 管理運営体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部を含めた各施設は隣接しており、緊急時はスピーディに対応できます。 ・経験豊かな専門職員を配置し、後進の育成を図り全体の職員レベルを向上させます。 ・6施設が効率的に連携し、限られた人員で全ての業務を補完できる体制とします。 ・日常的な訓練や研修、定期的な講習会を積極的に行い、職員の質の向上に努めます。 ・各社の持つノウハウが最大限は発揮できるような、業務分担・役割体制とします。
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の目的と重要性を職員に理解させ、漏えい、紛失が起きない体制を構築します。 ・合理的配慮を十分に理解し、障がい者を含む全利用者に対して公平かつ安心安全に利用できるよう接客指導を行います。 ・特定の利用者や団体に偏った対応を行わないように、内部監査を定期的実施します。 ・事故後の対応はもちろん、事故の未然防止に注力いたします。 ・安全管理マニュアルの整備とマニュアルを実践するための訓練を定期的に行います。 ・選手個人のプライバシーを尊重し、盗撮など卑劣な行為は断じて許さずこれを防止します ・自然災害、犯罪等の防止のため、市を含む関係機関と日常的に連携を深めます。

提案額（千円）

令和7年度	125,851千円
令和8年度	125,851千円
令和9年度	125,851千円
令和10年度	125,851千円
令和11年度	125,851千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。

本城・的場池公園内スポーツ施設 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月7日(月) 13:30~17:20
- 2 場 所 ミクニワールドスタジアム北九州 会議室5
- 3 出席者 (検討会構成員) 植田構成員、内田構成員、河邊構成員、
則松構成員、南構成員

(事務局) 都市ブランド創造局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、施設管理係長、
担当職員
- 4 会議内容
 - 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
 - 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
 - 構成員の互選により、座長を選出

 - 応募団体(株式会社スピナ)より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑
応答
 - (構成員) 本城も的場池も施設が老朽化している。今回、指定管理者として新たに5年間取り組む場合、提案した中で注力していきたいと思う点があるか。また、提案の中にトップアスリートに関する取り組みがあるがイメージはどのようなものか。
 - (応募団体) 設備管理について、当社は専門家集団であるため、早め早めに施設の不具合を発見し修繕を行うことで、大きな修繕費用が発生しないよう努めている。トップアスリートについては、オリンピック選手を北九州市から出そうという取り組みを考えている。実現可能だと思って取り組んでいきたい。
 - (構成員) ターゲット層別に広報手段を考えている印象を受けた。広告宣伝費について、紙、SNS、WEBなどの内訳を教えてほしい。
 - (応募団体) 広告宣伝費の内訳は現状決めておらず、細かい分類はしていない。受託をさせていただいたあかつきには、その辺もきっちりと最大限の効果を発揮できるよう話を進めていく。
 - (構成員) 本城・的場池の運営委員会を設置する中で、女性目線での施設運営を考えられているが、現状で女性が使いづらいと感じた点があるか。
 - (応募団体) 女性の使いづらさという点では、子供連れの方から使いづらいという意見があり、子供連れの方に寄り添った環境づくりをしていきたい。また、本城は、いろいろな大会が行われた際に男性と女性の

控室が入れ替わり、間違えやすいという意見があるため、ルール作りを行いたい。

- (構成員) いろいろな講座を考えられているが、利用者からのアンケートにより決定しているのか、それとも社内で話し合われたものか。
- (応募団体) 講座については、協力団体である北九州スポーツクラブ連絡会と連携している。講座の中身については、既存の講座を行っていく中で、利用者の方から希望があったものや、協力団体との協議により決定するものなど、いろいろなパターンがある。
- (構成員) 提案書の「母へ贈るスープ」とはどういうものか。高齢者向けの講座か。
- (応募団体) 「ぶどうの樹」が実施しているフレイル予防の食育である。高齢者と高齢者の家族を対象と考えている。
- (構成員) これから人件費が高騰していく中で、ベテランで高齢の職員と若い職員が効率よく仕事を進めていかなければならないと思うが、この点に関してどのような取り組みを行う予定か。
- (応募団体) 高齢者の仕事の質はとても高いが、いつまでもやっていただくわけにはいかない。技術とノウハウの継承を当社の全社的な取り組みとして行っており、例としては、常日頃からシニアの従業員と話す場を設け、リタイアしたいと相談があった際は、早めに後任を入れるなどの提案をし、円満な引継ぎができるよう取り組んでいる。
- (構成員) 本城公園の指定管理を共同事業体ではなく単独で行うにあたり、今回の芝生管理の提案は非常に素晴らしいと思う。しかし、提案書には本城陸上競技場のことのみ記載されているため、本城運動場の芝生管理についてはどう考えているか。
- (応募団体) 運動場の芝生管理についても、陸上競技場同様、日本体育施設と連携して行う。
- (構成員) 提案書に日本体育施設との連携が週1～2回程度の打ち合わせという記載があった。具体的に日本体育施設がどのように関与するか教えてほしい。
- (応募団体) 芝生の業務委託という形で進める。日本体育施設には芝生のスペシャリストがおり、その方に週1で来てもらい、現地でワーキングスタッフを指導しながらミーティングをする形をとる予定である。
- (構成員) SDGsの貢献について、「チャリティスポーツ教室」を実施する提案は、すごくいい取り組みだと思う。具体的に普段利用できない子供たちに対して、どういう告知をして、どうやってチケットを入手させていくのか。
- (応募団体) チャリティでチケットを買っていただけたら参加者を募集する。普段買われている方も、そうでない方にも合わせて募集をかけ、お金の関係で参加できないことが分からないように配慮する。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。

- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

（構成員） ヒアリングした結果、社内で情報共有されており、地に足のついた提案であるという印象を受けた。提案ではトップアスリートを連れてきて教室を行うとのことであったが、トップコーチを連れてきたほうが効果的ではないかと感じた。

（事務局） 情報発信の手段はかなり具体的で深く考えられていた。自主事業やSDGsの取り組みは、魅力的で参加したいと心を惹かれる内容であった。

（構成員） 実績に基づく具体的な提案がなされていて、特に今回、今までと違う施設の構成での指定管理となるが、芝生の問題も含めて、しっかりと対応を検討されていることが窺えた。

（構成員） 説明からもしっかりと管理をしていきたいという意欲を感じた。市民向けの講座も、例えばネーミングひとつをとっても心をくすぐるような内容であり、単に体を鍛えるだけじゃなくて、食育などにも視野を広げて取り組んでいくところを評価した。

（構成員） 財政的にもしっかりしており、経費についてもよく考えられている。全体的によく考えられている提案であるという印象を受けた。

- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。